

2019年  
千葉市議会第1回定例会  
2月15日～3月6日



松井かよ子 (美浜区) いわさき明子 (若葉区)

## 2019年度予算議会から

### 未来への投資がもりだくさん!

松井かよ子

新年度予算を決める議会が終了しました。借金返済を優先していた流れが一段落し、市の発展と市民生活の向上に資する事業に重点配分されました。以下の項目を評価し予算案に賛成しました。

#### 次世代を育てる「ひとづくり」

- 子どもを産み、育てやすい環境をつくる施策
- ◆「母子健康包括支援センター」相談員の増員
  - ◆民間保育園や子どもルームの整備など、待機児童対策
  - ◆小中学校へのエアコン設置、大規模改造、外壁・トイレ改修など

#### 地域の資源を活用する「まちづくり」

- 市の魅力・活力を高める都市づくりや地域経済の活性化に資する施策
- ◆空家所有者と利用希望者のマッチング制度
  - ◆特別史跡「加曾利貝塚」史跡整備など

借金の金額を抑えることや市立病院経営のたて直しが課題です。財政健全化や行政改革を一層すすめることを求めました。

#### 議案より

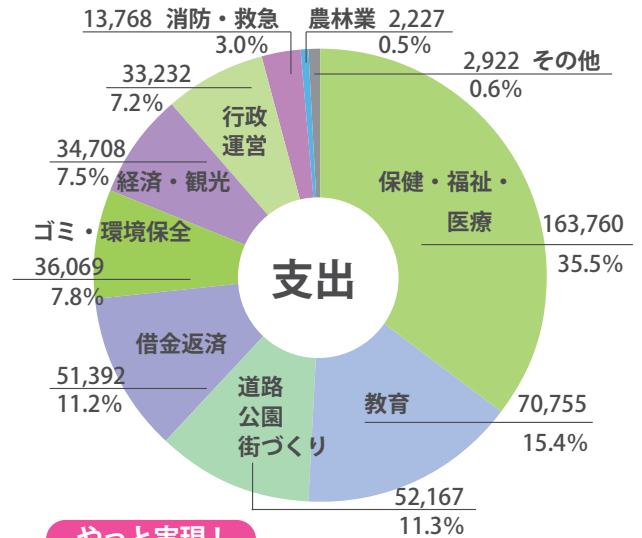
#### 災害に強い庁舎を!

熊本地震で益城町役場が被災し、市民生活に支障が出た教訓を踏まえ、国は耐震基準を満たさない自治体庁舎を建て替える際に借金ができ、後日お金を補てんする仕組みを作りました。これを財源として千葉市の新庁舎を建設します。契約金額は249億円。2023年度に完成予定です。津波や浸水等の影響を受けないように、さまざまな市民意見も取り入れ、総合防災拠点として機能が最大限発揮できる庁舎にすることを要望しました。

#### 北谷津の新しい清掃工場 事業者決まる

焼却ごみ処理を現在の2清掃工場体制で継続するため、整備の最重要ポイントは「安定稼働」と「最終処分場の延命化」です。契約金額は681億円。技術面で最高総合評価点を得た事業者が落札しました。他の清掃工場の焼却灰や破碎不燃残渣も一括処理できるガス化熔融方式で、新内陸最終処分場(更科町)への埋立量2万t/年が半減します。従来よりCO2排出量が多いことは懸念材料ですが、最終処分場の延命(約6年)やコスト削減などの点を重視し議案に賛成しました。建設までの環境アセスメント手続きでは広く周知を図り、市民意見を尊重すること。また、焼却ごみのさらなる削減のため、施策の充実を求めました。

## 2019年度一般会計の内訳 (単位:百万円)



#### やっと実現!

市民ネットワークが長年要望を行っていた「盲ろう者の実態調査」が実施されます。通訳と共にご本人を訪問して聞き取りをすることで、サービスなどにつなげていない盲ろう者がどのように生活しているのか、ニーズは何か、必要な支援はどのようなものかを明らかにします。

## いわさき明子の一般質問

### ■狭い道路で歩行者の安全はどう守る?

若葉区御成台1丁目交差点付近の歩道がなく危険な道路(写真)、当面の安全対策として電柱の移設を協議するとの回答を得ました。市民の安全を第一に考え、できる限りの対策をすること、御成街道の拡幅計画を早急に示すことを要望しました。



電柱をよけて車道を歩く人

### ■若年層・高齢者への食育が足りない!

心の健康を損なう人、体の不調を訴える人の原因は、偏った食事による栄養不足かもしれません。市は高齢者の体と心の状態を「基本チェックリスト」で確認、レシピサイト cookpadでの簡単レシピ紹介などを行っています。さらに能動的な施策として、惣菜や冷凍食品のアレンジレシピを開発し、スーパーやコンビニの売り場で配るよう要望しました。

